

## 河川水質評価とバイオサイエンスのgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年02月20日 ～2025年03月02日	マレーシア	マレーシア・日本国際工科院(MJIIT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命科学科</li> <li>学部2～3年生、修士1年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生25名、学生バイト2名、教員2名  (マレーシア・日本国際工科院) 学生8名、教員4名、職員2名	アズハム ズカルナイン (生命科学科)、  廣田 佳久 (生命科学科)



プトラジャヤのモスク見学

今回のgPBLは芝浦工業大学生命科学科とマレーシア日本国際工科院の化学環境工学部との間で実施されました。今年の参加者が探求したテーマはa) ブヌス川の水質評価とb) 環境保全のための藻類活用でした。gPBLの科学活動の一環として、参加者は水質測定のためのサンプリングを行う前に、ブヌス川のいくつかの調査地点で測量しました。マレーシアの河川の汚染状況を評価するために日本の同様の河川と比較しながら河川水を現地および研究室で分析しました。また、MJIITの専門家の指導のもとで参加者は環境保全に利用するための藻類を培養したり観察したりすることで微生物を利用した環境保全について学びました。



川の水質評価



研究室で試料解析



藻類の培養作業